

公益社団法人 日本麻酔科学会 男女共同参画推進プロジェクト(現麻酔科学会ダイバーシティ推進室)「男女共同参画に関する麻酔科医に対するアンケート調査」
—結果報告(概要)—

2020年2月14日から3月15日にかけて実施した結果の概要をお知らせします。

調査用紙配布と回収状況

調査用紙は、全麻酔科学会会員13247人(2019年4月1日)に送付し、回答数は953人、回答率は7.2%(953人/13247人)でした。

設問一覧

設問一覧を表1に提示します。設問はパート1とパート2に分かれており、パート1は回答者の背景(Q1~Q12)、勤務状況(Q13~Q45)、gender問題やハラスメント問題について(Q46~84)、キャリア継続について(Q61~Q84)の計84問。パート2は主に「キャリアに対する子育ての影響に関する調査」の設問66問より成ります。

回答結果

回答者背景の設問

回答者の年齢は30代が最も多く35.6%、40代25.7%、50代19.5%でした(Q1図1)。性別は男女ほぼ半数(Q2男性48.3%、女性50.9%)、保有する資格は約80%が専門医(Q5)で、約50%が指導医(Q6)でした。

勤務状況についての設問

回答者の現在の勤務先は、ほぼ病院勤務という結果でした(Q13図2)。このうち87%が病床数300床以上の病院でした(Q15)。勤務形態(Q18)は常勤が約9割(5日/週72.1%、4日/週13.9%、3日/週2.6%)で、勤務先での役職(Q16)を図3に示します。また非常勤形態や短時間常勤勤務の理由に対する回答は、56%が育児でした。

オンコールを含む当直や宿直回数(Q23)を図4に示します。当直なしの回答が30%であったものの、7回以上と回答した割合が13%ありました。当直なしの理由に対する回答(Q24)は23.7%が管理職であるとしたものの、育児や介護などの家庭の事情が49.4%、またご自身の健康問題が7.6%ありました。

休職や離職経験についての設問

これまで仕事を休職・離職したことあるかの問い(Q27)に対しては34.3%が有るとの回答で、期間を図5(Q30)に示します。1か月から2年が74%で、その理由(Q28)としては

出産が 71, 9%、子育てが 52, 8%でしたが、ご自身の病気も 17.0%でした。

職場の状況・ハラスメントについて

性差についてのアンケート

職場で女性や性的少数者への配慮があると感じているのは 71.5%であるものの (Q46)、昇進などの職業的機会が男女で平等と感じているのは 42.5%、平等でないと感じているのは約 33.8%でした (Q49)。また給与について性差別がないかとの問いには、ないとの回答は 66.7%、あるとの回答は 17.1%でした (Q51)。同等の経験があるのも関わらず、優先的に男性が昇進するかとの問いには、はいが 33.7%、いいえが 38.1%でした (Q54)。

ハラスメント問題

職場で性差別主義的な態度や発現があるかの問いに対しては、56.3%がないとの回答でしたが、26.2%が有るとの回答 (Q55) で、その対象は、93%が女性に対してでしたが、13.3%に LGBTQ などの性的マイノリティとの回答もありました (Q56)。実際に職場でセクシャルハラスメントが起きた事があるかの問いに対しては、48.0%がはいと回答し、その対象は 95.5%が女性でした (Q58,59)。

キャリア継続について

64.5%が職業と私生活の板挟みを感じていると回答しましたが (Q61)、所属部署で育児を担っている医師に対して適切に援助されているかの設問には 68%がはいとの回答でした (Q62)。男性以外の医師がより多く出世コースから外れる傾向が強いと感じると回答したものが 58.3%ありました (Q64)。また将来介護問題で職業活動を一時的または永久に中断する心配があるとの回答は 53, 1%ありました (Q65)。

現在麻酔業務をフルタイムで行っているかの設問には、80.8%がはいと回答しました (Q68)。フルタイムでない 19.2%にその理由を尋ねたところ (Q69) 70.4%がこどもの世話のためとの回答でしたが、現在の専従がペインクリニックや集中治療、緩和ケアであるためとの回答もみられました。

麻酔科

麻酔科についての設問 (Q66) では 88.2%が麻酔科を選択してよかったと回答し、31.6%が性差別なく働ける科としているものの、14.7%が労働の内容に対して報酬が引き合わない科と感じていました。

麻酔科を選択した理由についての設問では(Q36~Q41)、それぞれの項目に対して①最も重要、②とても重要、③いくらか重要、④まったく重要でないの4つで回答してもらったところ、以下の回答となりました。専門領域の魅力があるから (①24.9%、②51.3%、③21.3%、④2.5%)、他の医学分野に比べて時間が自由になるから (①11.2%、②36.7%、③37.4%、④14.7%)、他の医学分野に比べて昇進が早いから (①2.0%、②11.1%、③34.0%、④52.9%)、

他の医学分野に比べて収入が良いから (①3.0%、②18.7%、③44.8%、④33.5%)、強く進めてくれる人がいたから (①4.9%、②24.8%、③37.5%、④32.8%) という結果でした。

また麻酔科としてのキャリアについてご自身が希望すること、重要と考えることは何か、との設問に対しては(Q71:複数回答可)、84.7%が自分自身の臨床能力の向上、仕事と家庭の両立が67.4%、経済面 55%、仕事以外のライフスタイルの充実 44%が上位を占めていました(図6)。

妊娠、出産、育児と仕事の両立のために必要な事項についての設問

環境・規則にあるとよいものは何か (Q75 複数回答可) の設問に対しては、86.2%が時短勤務・フレックス勤務を、78.2%が施設内保育所や院内病児保育の実施、50.2%が復職支援プログラムや支援担当者の存在をあげました(図7)

制度や支援策にあるとよいものは何か (Q77 複数回答可)の設問では、74.9%が保育施設設置の義務化、55.7%が育児休業取得の推進、42.4%がスキルアップ研修、56.4%が有給休暇の推進、45.5%が勉強会や症例検討会などの e-learning 化をあげました(図8)。

仕事を続ける上で職場に望むことは何か (Q79 複数回答可) の設問では、71.5%が人員確保、60.7%が給与の待遇改善、59.9%が手術室の効率的な運営が多かったでした(図9)。

仕事を続ける上で日本麻酔科学会に望むことは何かの設問では (Q81 複数回答可)、64.5%が専門医を維持しやすくしてほしい、57.6%が研修講習の充実や参加のしやすさ、36.3%が公的病院の保育施設義務化を国に働きかけてほしい、31.9%が中小病院への時短勤務制度導入の働きかけ、31.3%に地方麻酔医の確保につながる対策がありました(図10)。

仕事を続ける上で社会に望むことは何かの設問では (Q83 複数回答可)

67.4%が医師の働き方改革推進に対する理解、59.4%が麻酔科医の必要性について認識してほしい、49.8%が保育施設の増設、49.4%が正しい診療報酬の改定でした(図11)。

パート2の回答結果

回答者背景

81.3%が配偶者(またはパートナー)があり、67.1%が子ども有りとの回答でした(Q3, Q6)。

産休と育休について

43.7%が規定通りの**産休**を取得していました(Q9)。規定未満の産休しかとらなかった理由についての設問では(Q10)は55.1%が自分の希望でしたが、23.2%は職場の要請との回答でした。また89名の回答者は産休を取得していませんでしたが、その理由については(Q12)24.8%は職場からの要請、41.6%が自分の希望、12.4%は産休中に退職したためという回答でした、

育休取得は38%(Q14)で、そのうちの92.3%は職場復帰していましたが(Q15)、復帰後70.8%で勤務形態が変化していました(Q22)。勤務形態がどのように変わったかの設問に対しては(Q22:複数回答可)、勤務時間短縮が66.4%、当直免除が70.6%、時間外勤務免除58.9%でしたが、10.2%で職位が低くなったと回答しました。

育児

あなたが仕事をしている間、こどもの世話をしているのは誰ですかの設問では(Q55)。配偶者(パートナー)56.7%、親戚25.8%、院外保育園38.9%が上位でした。

育児が職業経歴に与える影響の設問に対しては(Q59:複数回答可)、キャリアアップが遅れる(66.2%)、キャリアは現状のまま(29%)の回答が多く(図12)、具体的な影響についての設問では((Q61:複数回答可))、麻酔診療業務を縮小せざるを得なくする78%、経歴の進路を変えてしまう48.9%、広範な研究活動から離れることを余儀なくされる49.4%、サブスペシャリティ選択の機会が狭くなる42.3%、収入面で不利になる39.7%という結果でした(図13)。しかしながら育児によりキャリアアップに良い影響を与えたとの回答も9.3%ありました。どのような良い影響かという設問に対して自由記載してもらったところ(Q62)、人生経験、他人の気持ちを思いやれるようになった、といった意見が多くありました。職場が理想的な育児支援などを行えば、その麻酔科医の職業的地位を保つことができると思うかの設問では(Q64)、はいは46.0%、いいえが12.1%、わからないが42.0%という結果でした。いいえの回答の理由を自由記載した貰ったところ(Q65)、本人のやる気次第であるとの意見が多くみられました。またどのような制度が必要かという設問に対しては自由記載したもらったところ、育児支援施設の充実(24時間体制の保育園、病児保育、学童保育の支援など)、男性の家事育児参加、時短や育休が取得しやすい環境整備が多くあがっていました。

以上アンケートの集計結果の概要をご報告いたします。多大な設問に対して回答いただいた学会員の皆様、大変有難うございました。

表1 設問パート1

| 設問 | カテゴリ |
|--|------|
| Q0 ご自身の所属支部はどれですか。 | 選択 |
| Q1 出生年を西暦でお答えください。 | 選択 |
| Q2 性別 あてはまるものはどれですか。* | 選択 |
| Q3 医学部を卒業した年はいつですか。* | 選択 |
| Q4 麻酔科標榜医の資格について。* | 選択 |
| Q5 麻酔科専門医の資格について。* | 選択 |
| Q6 麻酔科指導医の資格について。* | 選択 |
| Q7 集中治療専門医の資格について。* | 選択 |
| Q8 心臓血管麻酔専門医の資格について。* | 選択 |
| Q9 小児麻酔認定医の資格について。* | 選択 |
| Q10 バイソクリニック認定医の資格について。* | 選択 |
| Q11 緩和認定医の資格について。* | 選択 |
| Q12 上記以外の医療関係の資格がありましたらご記入ください。 | 自由入力 |
| Q13 現在勤務の病院の開設主体をお答えください。以降の質問について、現在休職中の方は直前の勤務先についてお答え下さい。(複数回答可)* | 複数選択 |
| Q14 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q15 勤務先の病院の病床数はおよそ何床ですか。複数施設で勤務の場合は1週間で最も勤務時間が長い施設についてお答えください。* | 選択 |
| Q16 勤務先の役職はどれにあたりますか。(複数回答可)* | 複数選択 |
| Q17 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q18 主な勤務施設での勤務形態は次のどれですか。* | 選択 |
| Q19 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q20 現在の勤務先の勤続期間をお答えください。* | 選択 |
| Q21 1週間の契約勤務時間は、何時間ですか。(フルタイムであれば通常32時間から40時間または40時間から48時間) | 選択 |
| Q22 1週間の実際の勤務時間は、平均で何時間ですか。(時間外勤務も含む。研究時間は含めない) | 選択 |
| Q23 当直/宿直(オンコールを含む)について、1か月平均の回数はどれくらいですか。 | 選択 |
| Q24 当直/宿直がなしの方へ。その理由は何ですか。 | 選択 |
| Q25 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q26 月の休みは平均何日くらいですか。(実際に取得した日数) | 選択 |
| Q27 仕事を中断(休職)、離職したことがありますか。* | 選択 |
| Q28 休職、離職の経験のある方へ。その理由は何ですか。(複数回答可) | 複数選択 |
| Q29 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q30 休職、離職の経験のある方へ。その期間はどれくらいですか。 | 選択 |

| | |
|--|------|
| Q31 常勤以外の時短勤務などを経験したことがありますか。* | 選択 |
| Q32 常勤以外の時短勤務などの経験のある方へ。その理由は何ですか。(複数回答可) | 複数選択 |
| Q33 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q34 非常勤(嘱託、パート、その他含む)あるいは短時間常勤職員の方へ。その理由は何ですか。(複数回答可) | 複数選択 |
| Q35 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q36 専門領域として魅力が有るから。* | 選択 |
| Q37 他の医学分野に比べて時間が自由になるから。* | 選択 |
| Q38 他の医学分野に比べて昇進が早いから。* | 選択 |
| Q39 他の医学分野に比べて収入が良いから。* | 選択 |
| Q40 強く勧めてくれる人がいたから。* | 選択 |
| Q41 家庭との両立がしやすいから。* | 選択 |
| Q42 研修医を終了した時、あなたが最初に勤めたのはどこですか。* | 選択 |
| Q43 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q44 医師としてどのような勤務体系を望んでいますか。(複数回答可)* | 複数選択 |
| Q45 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q46 あなたの職場では、女性や性的少数者(sexual minority)について、何らかの配慮があると思いますか。* | 選択 |
| Q47 自分のキャリアアップの目標としている麻酔科医がいますか。* | 選択 |
| Q48 その人の gender は何ですか | 選択 |
| Q49 あなたは、あなたの同僚の男性と比べて、昇進などの職業的な機会は完全に同等だと思いますか。すべての方にご回答をお願いします。* | 選択 |
| Q50 あなたは、あなたの同僚の女性と比べて、昇進などの職業的な機会は完全に同等だと思いますか。すべての方にご回答をお願いします。* | 選択 |
| Q51 医学部や病院において同じ地位にある麻酔科医は gender に関係なく、同等の給与を支給されていると思いますか。* | 選択 |
| Q52 医学部や病院において同じ地位にある麻酔科医は gender の偏見のない方法で昇進を与えられていると思いますか。* | 選択 |
| Q53 男性以外の教職員は、男性の同僚に比べて講義や委員会や他の義務的な仕事により多く振り分けられていると思いますか。* | 選択 |
| Q54 昇進の際、同等の学歴・経験が有るのにもかかわらず、優先的に男性が任命されることが有ると思いますか。 | 選択 |
| Q55 あなたの職場環境には、性差別主義的な態度や発言が有りますか。* | 選択 |
| Q56 はいを選択の場合、それ(性差別主義的な態度や発言)は誰に向けられたものですか。(複数回答可) | 複数選択 |
| Q57 前問で、それ以外と答えた方、誰に向けられたのか、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q58 あなたの職場でセクシャルハラスメント(セクハラ)が起きた事が有ると思いますか。* | 選択 |
| Q59 はいを選択の場合、多くは誰がセクハラを受けますか。(複数回答可) | 複数選択 |
| Q60 前問で、それ以外と答えた方、誰に向けられたのか、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q61 職業と私生活の板ばさみになって困難を感じる事が有りますか。* | 選択 |
| Q62 あなたの所属する部署では、家庭内で育児を主に行っている医師に対して、適切な援助がなされていると思いますか。* | 選択 |
| Q63 所属施設や所属する麻酔科が、女性その他のマイノリティに援助を与えないために、彼らが学問的キャリアを選ばないと思いますか。* | 選択 |

| | |
|---|------|
| Q64 男性以外の医師がより多く出世コースから外れてしまう傾向が強いですか。* | 選択 |
| Q65 将来または現在、親や年をとった親戚の面倒を見るために職業活動を一時的に、または永久に止めなければと、心配した事が有りますか。* | 選択 |
| Q66 該当するものをお答えください。(複数回答可)* | 複数選択 |
| Q67 麻酔科医になろうと思った時、将来にビジョンを持っていましたか。* | 選択 |
| Q68 現在麻酔業務をフルタイムで行なっていますか。* | 選択 |
| Q69 前問で、いいえの方だけその理由について、お答えください。(複数回答可) | 複数選択 |
| Q70 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q71 麻酔科医としてのキャリアについてご自身が希望する(した)こと、重要だと考えることはなんですか。(複数回答可)* | 複数選択 |
| Q72 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q73 新専門医制度の導入後についてのお考えを選んでください。(複数回答可)* | 複数選択 |
| Q74 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q75 職場での妊娠、出産、育児に対して仕事と両立を可能とするような職場での環境や規則に、あるとよいものは何ですか。(複数回答)* | 複数選択 |
| Q76 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q77 仕事を続ける上で、必要と思う制度や支援策の案についてあるとよいと思うのは何ですか。(複数回答)* | 複数選択 |
| Q78 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q79 仕事を続ける上で、職場に望む事は何ですか。(複数回答)* | 複数選択 |
| Q80 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q81 仕事を続ける上で、日本麻酔科学会に望む事は何ですか。(複数回答)* | 複数選択 |
| Q82 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q83 仕事を続ける上で、社会に望む事は何ですか。(複数回答)* | 複数選択 |
| Q84 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |

設問パート2

| 設問 | カテゴリ |
|---|------|
| Q1 婚姻の状況* | 選択 |
| Q2 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q3 現在、配偶者(パートナー)はいらっしゃいますか。* | 選択 |
| Q4 配偶者(パートナー)ありの方へ。あなたの配偶者(パートナー)の職業は何ですか。(複数回答可) | 複数選択 |
| Q5 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |

| | |
|--|------|
| Q6 お子さんはいらっしゃるでしょうか。* | 選択 |
| Q7 お子さんがいらっしゃる方へ。現在、最も年少のお子さんの年はいくつですか。 | 選択 |
| Q8 最初（最年長）のお子さんについてお答えください。 | 選択 |
| Q9 最初のお子さんの産休についてお答えください。（複数回答可） | 複数選択 |
| Q10 取得したが、産前 6 週産後 8 週未満という方へ。理由は何ですか。（複数回答可） | 複数選択 |
| Q11 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q12 産休を取得しなかった方へ。理由は何ですか。（複数回答可） | 複数選択 |
| Q13 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q14 育休を取得しましたか。 | 選択 |
| Q15 産休または育休を取得された方へ。産休または育休から復帰しましたか。 | 選択 |
| Q16 産休または育休から復帰した方へ。産休または育休取得時にあなたが勤めていた施設はどこですか。（複数回答可） | 複数選択 |
| Q17 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q18 産休または育休を取得された方へ。産休または育休の直前にあなたが持っていた役職は何ですか。（複数回答可） | 複数選択 |
| Q19 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q20 産休または育休から復帰した方へ。復帰後の役職は何ですか。（複数回答可） | 複数選択 |
| Q21 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q22 産休または育休から復帰した方へ。取得前と勤務形態は変わりましたか。 | 選択 |
| Q23 産休取得前と勤務形態が変わった方へ。どのように変わりましたか。（複数回答可） | 複数選択 |
| Q24 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q25 産休または育休を取得された方へ。取得前に平均週何時間くらい働きましたか。 | 選択 |
| Q26 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q27 産休または育休を取得された方へ。産休または育休から復帰した時、平均週何時間くらい働きましたか。 | 選択 |
| Q28 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q29 配偶者（パートナー）は仕事を持っていますか。 | 選択 |
| Q30 配偶者（パートナー）が仕事を持っている方へ。あなたは配偶者（パートナー）が仕事を持っていることをほこりに思いますか。 | 選択 |
| Q31 配偶者（パートナー）が仕事を持っている方へ。あなたは配偶者（パートナー）にその仕事を続けてほしいですか。 | 選択 |
| Q32 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q33 ご自身が育休を取りましたか。 | 選択 |
| Q34 ご自身が育休を取った方へ。育休はどれくらい取りましたか。 | 選択 |
| Q35 ご自身が育休を取った方へ。お子さんが何ヶ月のときに取りましたか。 | 選択 |
| Q36 ご自身が育休を取った方へ。育休を取った理由をご記入ください。 | 自由入力 |
| Q37 ご自身が育休を取った方へ。あなたが育児休暇を取得する時に、あなたが勤めていたのはどこの施設ですか。 | 選択 |
| Q38 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |

| | |
|---|------|
| Q39 ご自身が育休を取った方へ。育児休暇の前に平均週何時間くらい働きましたか。 | 選択 |
| Q40 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q41 ご自身が育休を取った方へ。育児休暇の直前にあなたが持っていた役職は何ですか。(複数回答可) | 複数選択 |
| Q42 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q43 育休から復帰しましたか。 | 選択 |
| Q44 あなたが育児休暇から復帰した時、あなたが勤めていたのはどこの施設ですか。 | 選択 |
| Q45 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q46 育児休暇から復帰した時、平均週何時間くらい働きましたか。 | 選択 |
| Q47 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q48 育児休暇から復帰した時のあなたの役職は何ですか。(複数回答可) | 複数選択 |
| Q49 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q50 育休取得前と勤務形態は変わりましたか。 | 選択 |
| Q51 育休から復帰後、育休取得前と勤務形態が変わった方へ。どのように変わりましたか。(複数回答可) | 複数選択 |
| Q52 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q53 ご自身が育休を取らなかった方へ。育休を取らなかった理由はなんですか。(複数回答可) | 複数選択 |
| Q54 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q55 あなたが仕事をしている間、子供の世話をしているのは誰ですか。(複数回答可) | 複数選択 |
| Q56 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q57 前問で複数の該当がある場合に、最も主に子供の世話をしているのは誰ですか。(複数回答可) | 複数選択 |
| Q58 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q59 育児は職業経歴に対して、どのような影響を与えたいと思いますか。(複数回答可)* | 複数選択 |
| Q60 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q61 Q59 質問で、1 または 2 を選択の方へ。育児によりどのような影響、またはなぜ現状維持に留まると考えますか。(複数回答可) | 複数選択 |
| Q62 前問でその他を選択の場合、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q63 育児によって「キャリアアップに良い影響を与える」と考える方へどのように良い影響を与えたいと思いますか。よろしければ具体的にお答えください。 | 自由入力 |
| Q64 もし、職場が育児中で働く麻酔科医のために、理想的な育児支援などを行う場合、その麻酔科医の職業的地位を保つ事が出来るとあなたは思いますか。* | 選択 |
| Q65 Q64 の質問でいいえを選択の場合、それはなぜですか、よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |
| Q66 Q64 の質問ではいいを選択の場合、どのような育児支援が理想的でしょうか。よろしければ具体的にご記入ください。 | 自由入力 |

図1 回答者の年齢

| | |
|-----------------|-----|
| 1. 1930年から1939年 | 0 |
| 2. 1940年から1949年 | 4 |
| 3. 1950年から1959年 | 92 |
| 4. 1960年から1969年 | 186 |
| 5. 1970年から1979年 | 245 |
| 6. 1980年から1989年 | 339 |
| 7. 1990年から1999年 | 87 |
| 1. 1930年から1939年 | 0 |
| 2. 1940年から1949年 | 4 |
| 3. 1950年から1959年 | 92 |
| 4. 1960年から1969年 | 186 |
| 5. 1970年から1979年 | 245 |
| 6. 1980年から1989年 | 339 |
| 7. 1990年から1999年 | 87 |

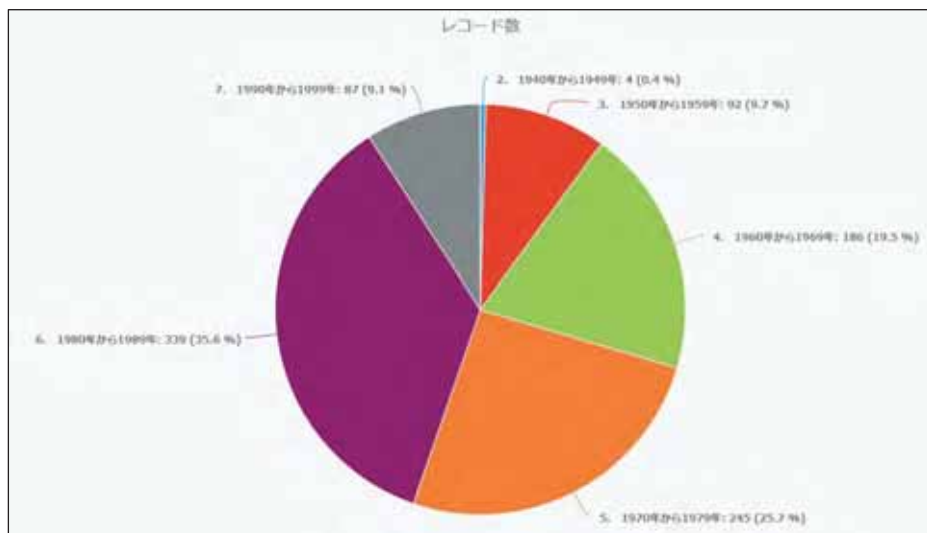


図2 回答者の勤務先

| | |
|---------------------|-----|
| 1. 国公立大学病院 | 284 |
| 2. 私立大学病院 | 293 |
| 3. 国公立病院 (独立行政法人含む) | 196 |
| 4. 私立病院 | 171 |
| 5. 医院、クリニック | 18 |
| 6. 病院以外の会社 | 1 |
| 7. 医療機関に属さない | 2 |
| 8. その他 | 12 |

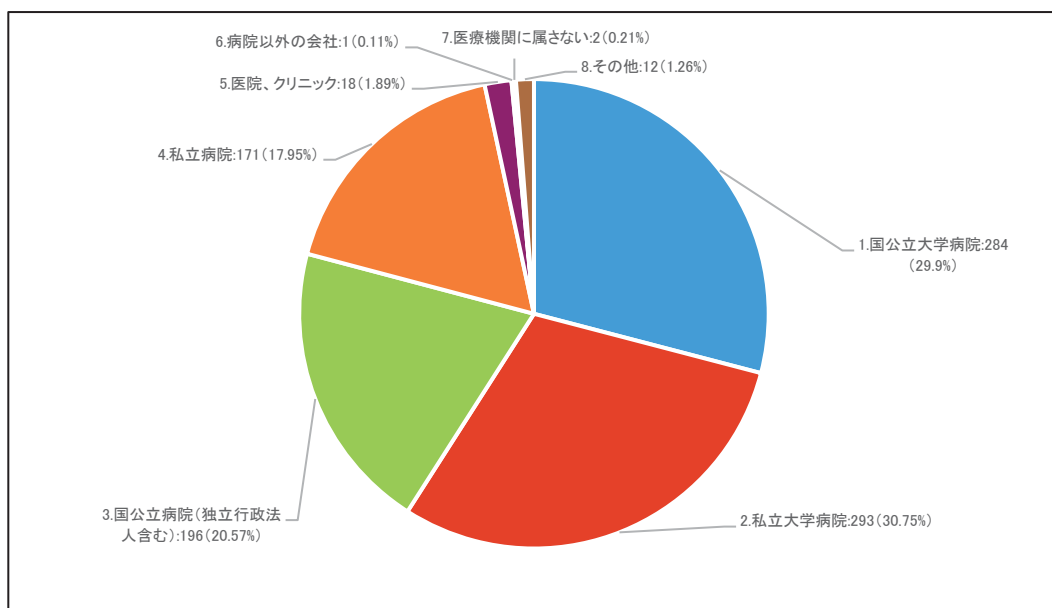


図3 回答者の役職

| | |
|--------------|-----|
| 1.院長 | 10 |
| 2.副院長 | 31 |
| 3.部長 | 155 |
| 4.医長 | 57 |
| 5.科長 | 29 |
| 6.教授 | 65 |
| 7.准教授 | 46 |
| 8.講師 | 45 |
| 9.助教 | 205 |
| 10.常勤（役職あり） | 108 |
| 11.常勤（役職なし） | 145 |
| 12.非常勤（役職し） | 67 |
| 13.後期研修医/専攻医 | 108 |
| 14.大学院生 | 29 |
| 15.その他 | 10 |

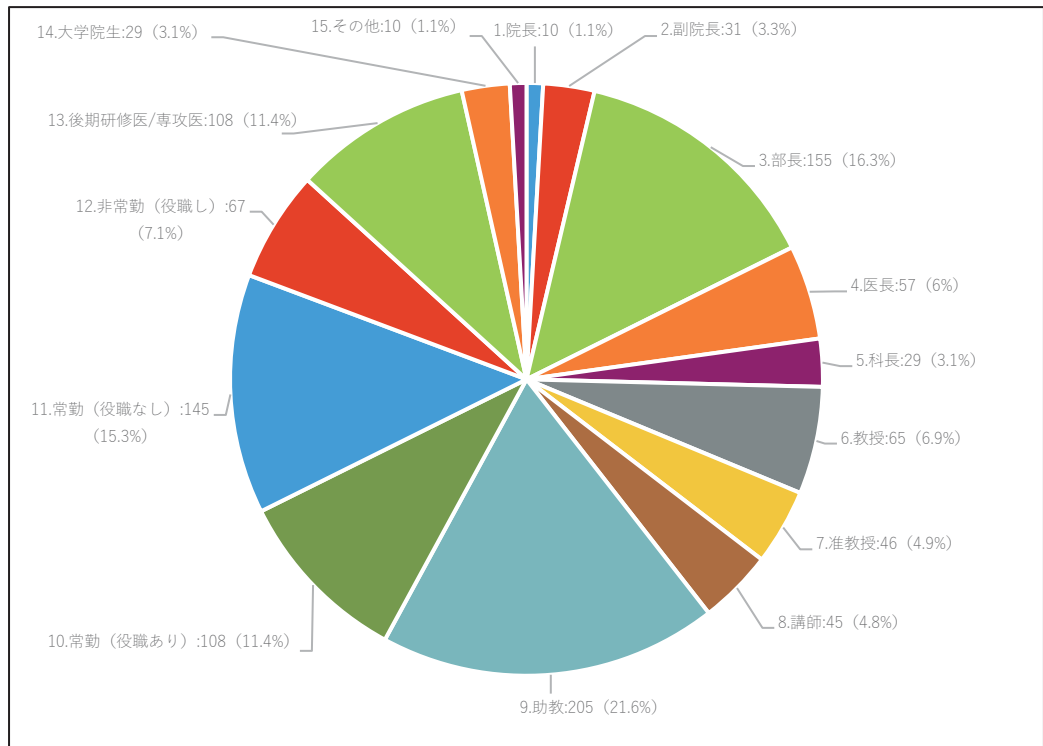


図4 回答者のオンコールを含む当直・宿直回数

| | |
|----------|-----|
| 1. なし | 284 |
| 2. 1~2回 | 105 |
| 3. 3~4回 | 250 |
| 4. 5~6回 | 185 |
| 5. 7~9回 | 72 |
| 6. 10回以上 | 51 |

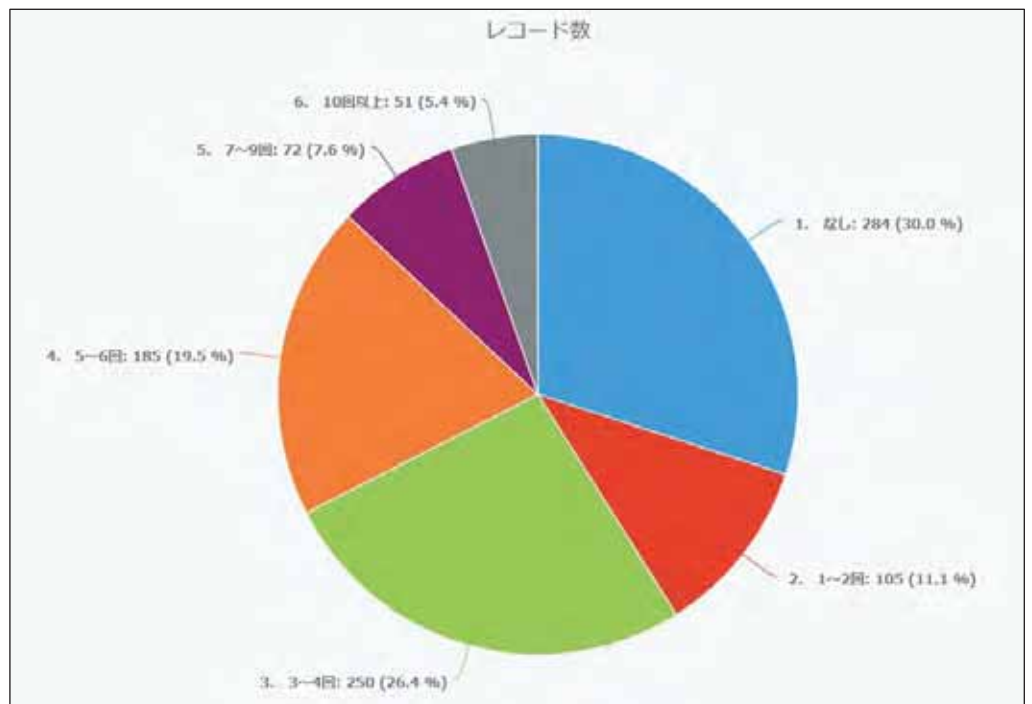


図5 休職・離職期間

| | |
|---------------|----|
| 1. 1ヶ月未満 | 15 |
| 2. 1ヶ月から6ヶ月未満 | 73 |
| 3. 6ヶ月から1年未満 | 89 |
| 4. 1年から2年未満 | 83 |
| 5. 2年から3年未満 | 43 |
| 6. 3年以上 | 27 |

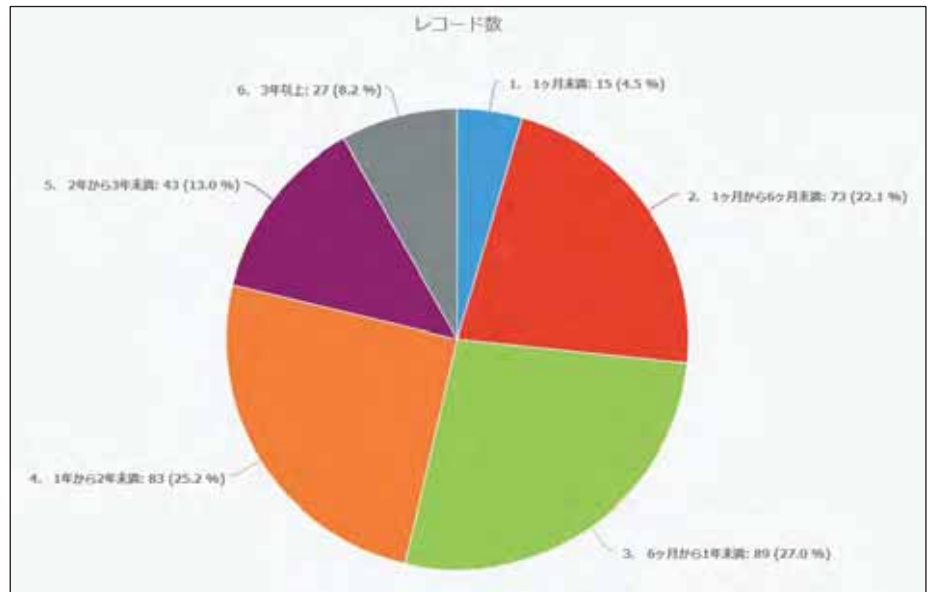
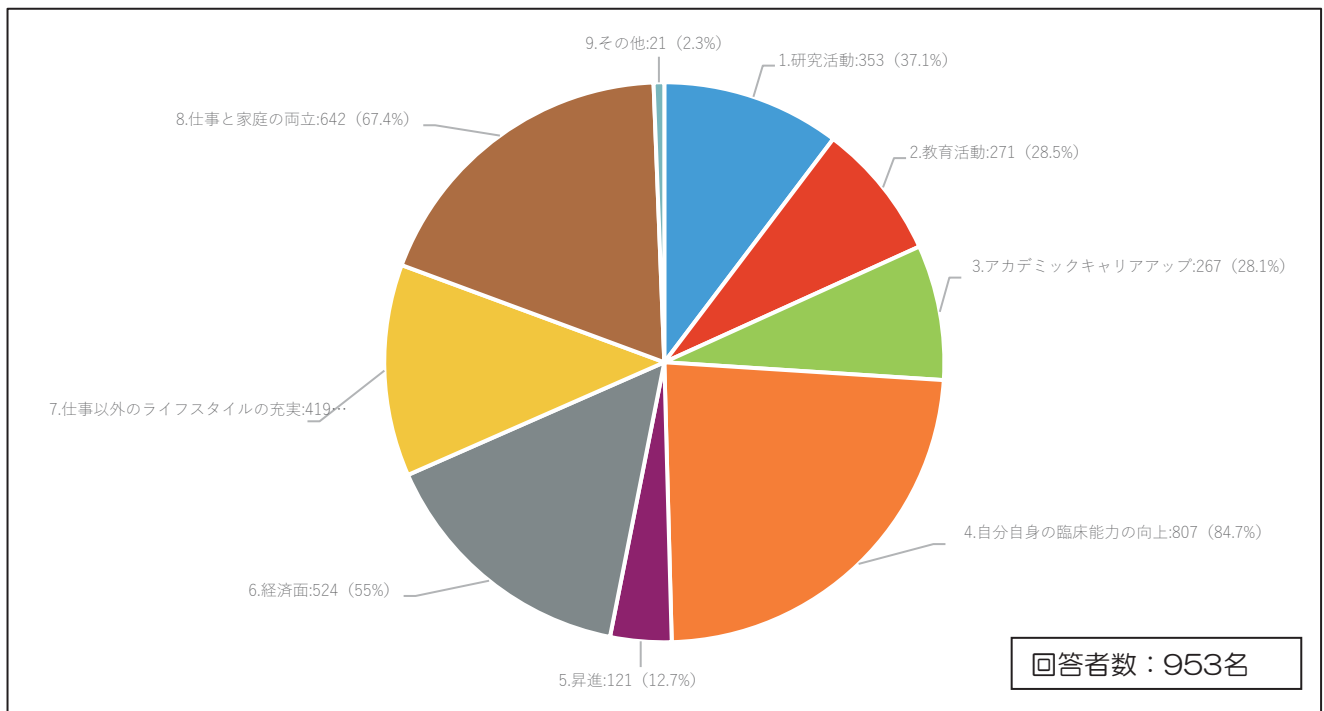


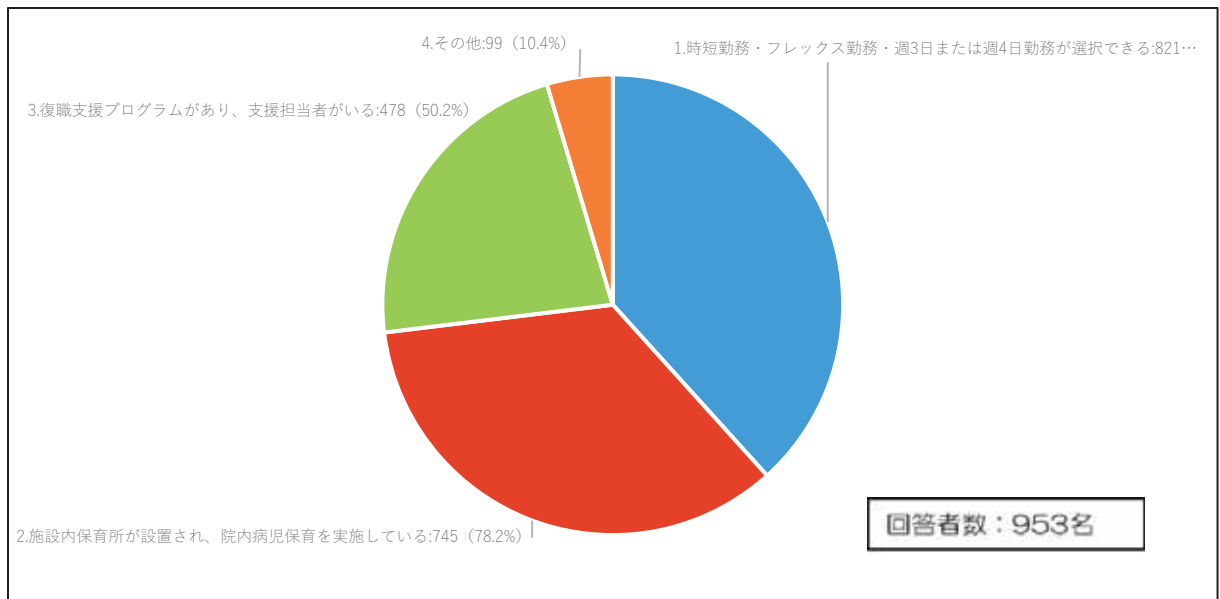
図6 麻酔科医としてのキャリアについてご自身が希望する（した）こと、重要だと考えること



| | |
|------------------|-----|
| 1. 研究活動 | 353 |
| 2. 教育活動 | 271 |
| 3. アカデミックキャリアアップ | 267 |
| 4. 自分自身の臨床能力の向上 | 807 |
| 5. 昇進 | 121 |
| 6. 経済面 | 524 |

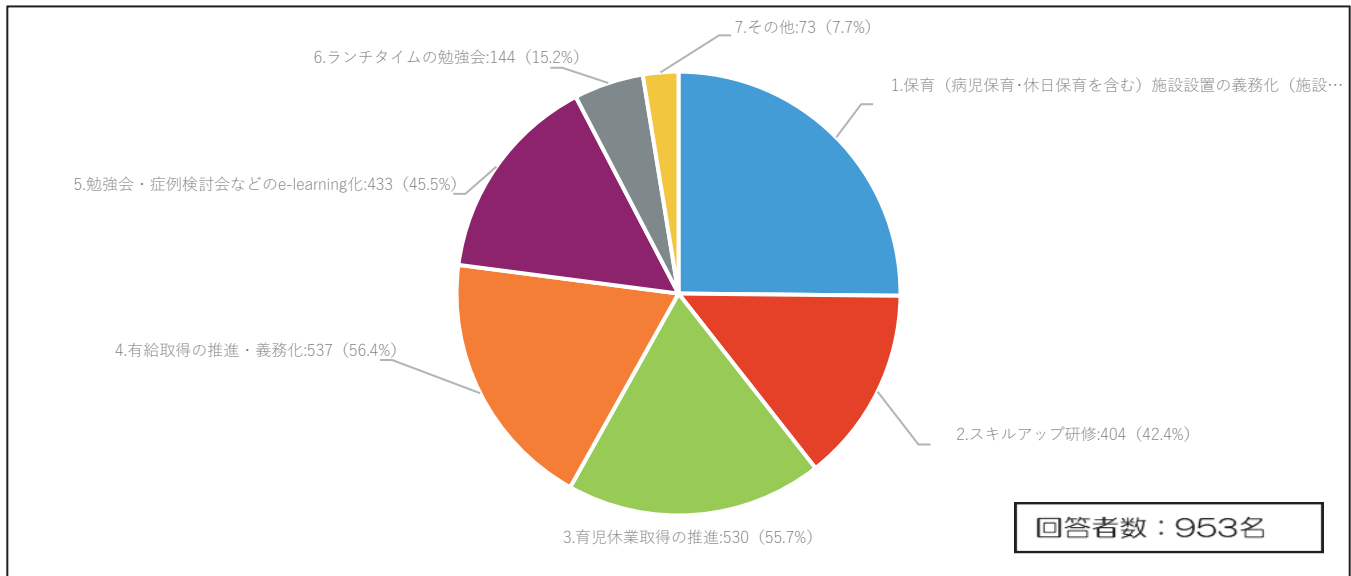
| | |
|-------------------|-----|
| 7.仕事以外のライフスタイルの充実 | 419 |
| 8.仕事と家庭の両立 | 642 |
| 9.その他 | 21 |

図7 妊娠、出産、育児と仕事の両立のために必要な環境・規則



| | |
|----------------------------------|-----|
| 1.時短勤務・フレックス勤務・週3日または週4日勤務が選択できる | 821 |
| 2.施設内保育所が設置され、院内病児保育を実施している | 745 |
| 3.復職支援プログラムがあり、支援担当者がある | 478 |
| 4.その他 | 99 |

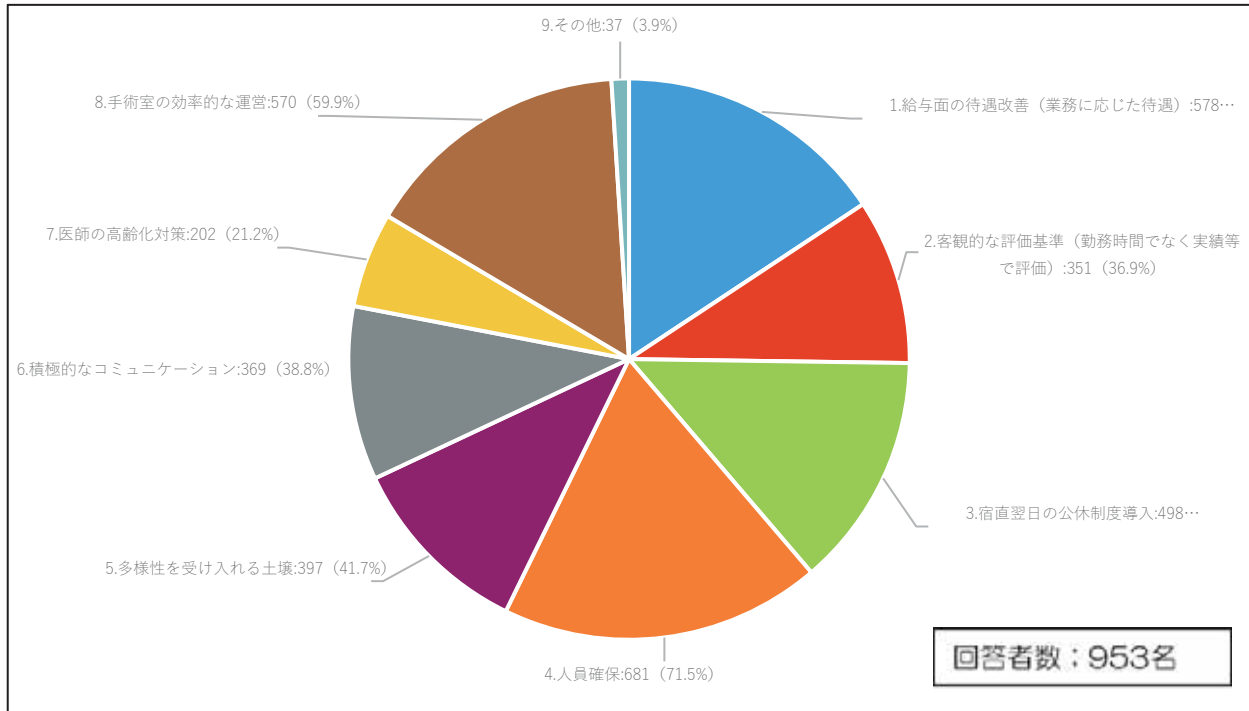
図8 妊娠、出産、育児と仕事の両立のために必要な制度や支援策



| | |
|--|-----|
| 1.保育（病児保育・休日保育を含む）施設設置の義務化（施設基準として設ける） | 713 |
| 2.スキルアップ研修 | 404 |

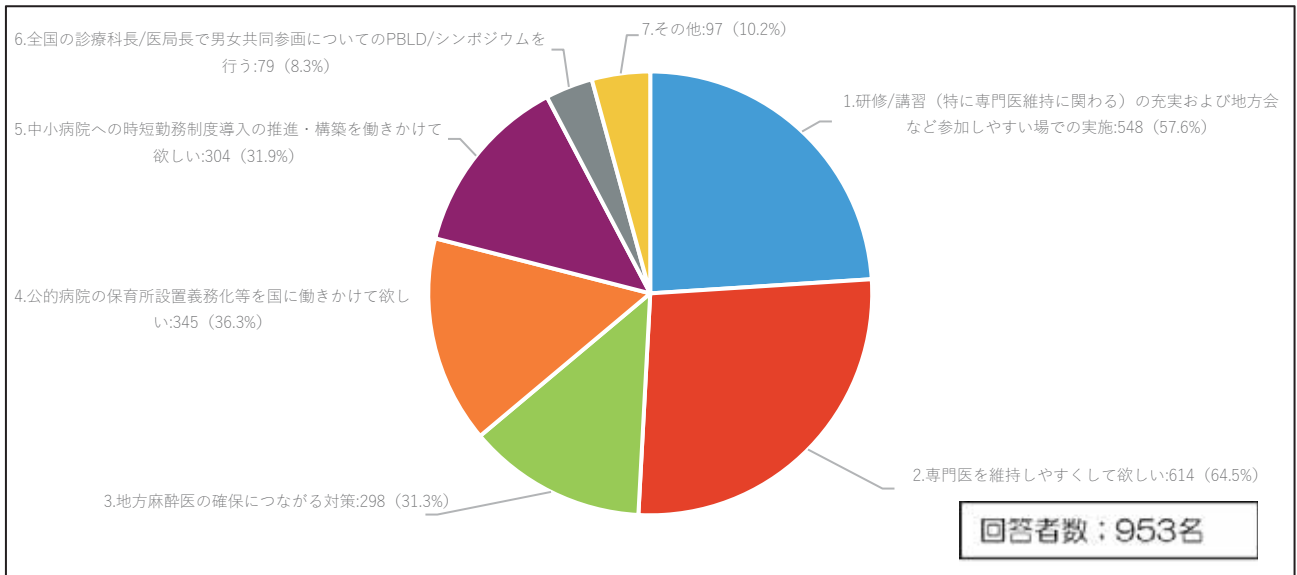
| | |
|---------------------------|-----|
| 3.育児休業取得の推進 | 530 |
| 4.有給取得の推進・義務化 | 537 |
| 5.勉強会・症例検討会などのe-learning化 | 433 |
| 6.ランチタイムの勉強会 | 144 |
| 7.その他 | 73 |

図9 妊娠、出産、育児と仕事の両立のために職場に望むこと



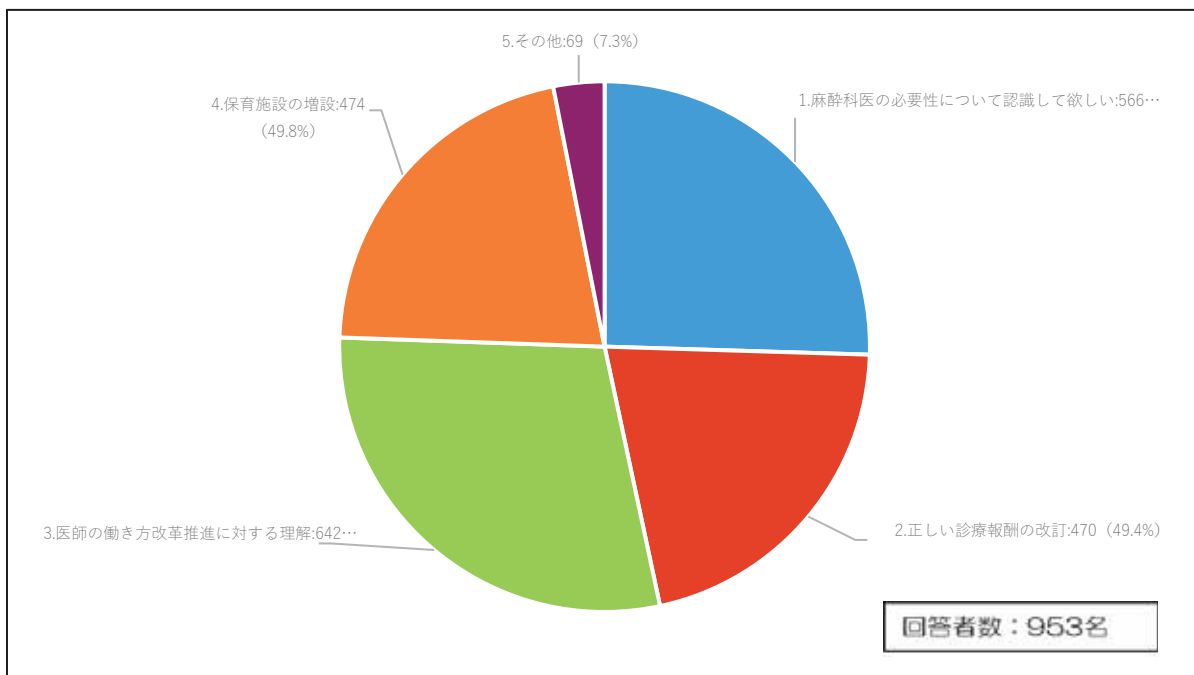
| | |
|---------------------------|-----|
| 1.給与面の待遇改善（業務に応じた待遇） | 578 |
| 2.客観的な評価基準（勤務時間でなく実績等で評価） | 351 |
| 3.宿直翌日の公休制度導入 | 498 |
| 4.人員確保 | 681 |
| 5.多様性を受け入れる土壌 | 397 |
| 6.積極的なコミュニケーション | 369 |
| 7.医師の高齢化対策 | 202 |
| 8.手術室の効率的な運営 | 570 |
| 9.その他 | 37 |

図 10 妊娠、出産、育児と仕事の両立のために麻酔科学会に望むこと



| | |
|---|-----|
| 1. 研修/講習（特に専門医維持に関わる）の充実および地方会など参加しやすい場での実施 | 548 |
| 2. 専門医を維持しやすくして欲しい | 614 |
| 3. 地方麻酔医の確保につながる対策 | 298 |
| 4. 公的病院の保育所設置義務化等を国に働きかけて欲しい | 345 |
| 5. 中小病院への時短勤務制度導入の推進・構築を働きかけて欲しい | 304 |
| 6. 全国の診療科長/医局長で男女共同参画についてのPBLD/シンポジウムを行う | 79 |
| 7. その他 | 97 |

図 11 妊娠、出産、育児と仕事の両立のために社会に望むこと



| | |
|-----------------------|-----|
| 1.麻酔科医の必要性について認識して欲しい | 566 |
| 2.正しい診療報酬の改訂 | 470 |
| 3.医師の働き方改革推進に対する理解 | 642 |
| 4.保育施設の増設 | 474 |
| 5.その他 | 69 |

図 12 育児が職業経歴に与える影響について

| | |
|--------------------|-----|
| 1.キャリアアップが遅くなる | 631 |
| 2.キャリアは現状維持に留まる | 276 |
| 3.キャリアアップに良い影響を与える | 89 |
| 4.何の影響もない | 104 |
| 5.その他 | 51 |

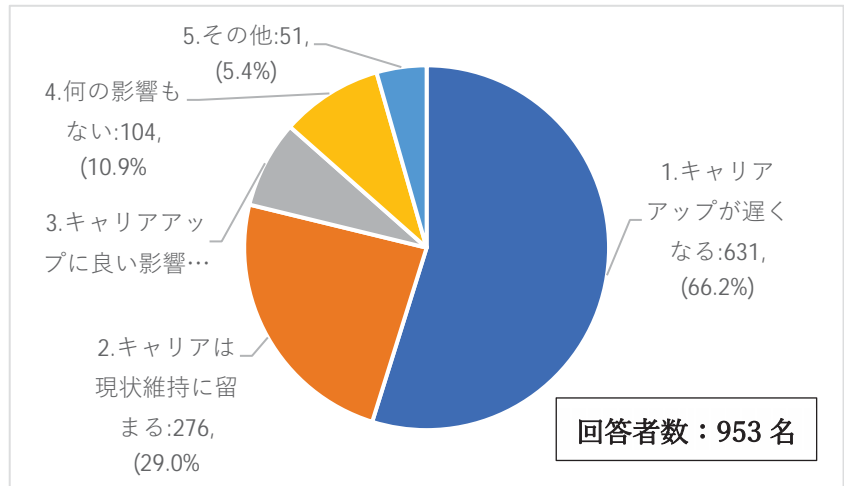
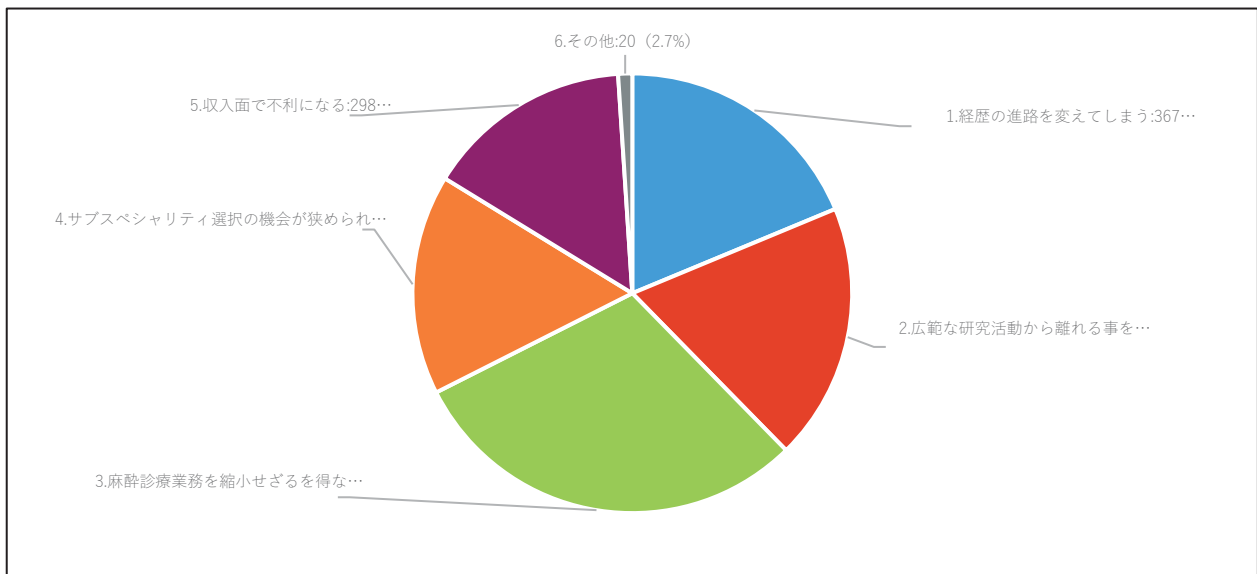


図 13 育児によるキャリアへの影響



| | |
|-----------------------------|-----|
| 1.経歴の進路を変えてしまう | 367 |
| 2.広範な研究活動から離れる事を余儀なくするものである | 371 |
| 3.麻酔診療業務を縮小せざるを得なくするものである | 586 |
| 4.サブスペシャリティ選択の機会が狭められる | 318 |
| 5.収入面で不利になる | 298 |
| 6.その他 | 20 |